

運転を積極的に楽しむことも、ゆったりクルーズすることも思いのまま。 充実のヒューマン・マシン・インターフェイス。

■スポーティーで視認性に優れた大径2眼メーター

運転を気持ちよく楽しんでいただくために、メーターはHondaヒューマン・マシン・インターフェイスの考え方である「直感操作・瞬間認知」を徹底的に追求。なかでもEXは、全面を液晶パネルで表現する10.2インチフルグラフィックメーターをシビックとしてはじめて採用しました。豊かな表現力を生かしたわかりやすい表示を実現しています。

10.2インチフルグラフィックメーター (EX)

●直感的な操作をサポートするステアリングスイッチと連動したレイアウト
メーター左側にオーディオなどのインフォテインメント系、右側にHonda SENSINGやナビなど運転支援系の情報を表示。ステアリングスイッチの位置と連携させることで直感的な操作をサポートします。



●走行状況やお好みに応じた多彩な表現

ステアリングスイッチの操作により、基本の2眼表示をバググラフ表示に変更可能。オーディオなどのインフォテインメント情報や、燃費などの運転支援情報をメインパネルに表示できます。渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)での走行中は、スピードメーターとタコメーターを非表示とするシンプルモードも選択可能。必要十分な情報に絞り込むことで、ゆったりとした気分で高速クルーズを楽しめます。

□シンプルモード表示例



□走行環境表示例



●走行環境・自車状況を反映したわかりやすい表現

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)での走行中、自車の走行レーンや検知した他の車両をわかりやすく表現。自車ブレーキランプやウィンカーの点灯も反映し、状況をよりわかりやすく伝えます。

7.0インチ高精細液晶パネル+アナログスピードメーター(LX)

タコメーターとマルチインフォメーション・ディスプレイに7インチ液晶パネルを採用し、アナログスピードメーターと組み合わせました。タコメーター内にはナビ情報などをわかりやすく表示。センターには、Honda SENSINGの作動状況などを表示します。



■ボディースタビライジングシート

安定した運転姿勢でドライビングを楽しんでいただきたいという考えから、Honda最新のシートフレームを採用したボディースタビライジングシートを前席に採用。骨盤から腰椎までを樹脂製マットで支える面支持構造により、均一感やサポート性の高い着座フィールを実現します。新型シビックでは、このフレームを核に、スポーティーな走りでも安定した姿勢を保てるシートを追求。下肢サポート部のパッドを高くすることで、高い旋回Gでも臀部のずれや姿勢変化が少ないフロントシートを完成させました。

□ボディースタビライジングシートイメージ図

